

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	:	<b>OIL-BLOCKER（主剤）</b>
用途	:	金属補修剤
会社情報		
会社名	:	株式会社IHI回転機械エンジニアリング
担当部署	:	国内アフターサービス営業部
住所	:	神奈川県横浜市磯子区新中原町1番地
電話番号	:	045-522-5322
緊急連絡先	:	045-522-5322
FAX番号	:	045-522-5341
製造者	:	株式会社中央発明発明研究所
住所	:	東京都西多摩郡瑞穂町二本木字杉並539番地
作成日	:	2022年4月22日

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	:	分類できない
可燃性ガス	:	分類できない
エアゾール	:	分類できない
酸化性ガス	:	分類できない
高压ガス	:	分類できない
引火性液体	:	区分に該当しない
可燃性固体	:	分類できない
自己反応性化学品	:	分類できない
自然発火性液体	:	分類できない
自然発火性固体	:	分類できない
自己発熱性化学品	:	分類できない
水反応可燃性化学品	:	分類できない
酸化性液体	:	分類できない
酸化性固体	:	分類できない
有機過酸化物	:	分類できない
金属腐食性物質	:	分類できない
鈍性化爆発物	:	分類できない

#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	:	分類できない
急性毒性（経皮）	:	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	:	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	:	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	:	区分2
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	:	区分2A
呼吸器感作性	:	分類できない
皮膚感作性	:	区分1
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	分類できない
誤えん有害性	:	分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	:	分類できない
水生環境有害性 長期（慢性）	:	分類できない
オゾン層への有害性	:	分類できない

GHSラベル要素  
絵表示



注意喚起語

警告

危険有害性情報

- ・ 皮膚刺激
- ・ 強い眼刺激
- ・ アレルギー皮膚反応を起こすおそれ

注意書き

安全対策

- ・ 保護眼鏡・保護面を着用すること。
- ・ 取り扱い後はよく手、顔を洗うこと。
- ・ 保護手袋を着用すること。
- ・ ミスト・蒸気の吸入を避けること。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。

応急措置

- ・ 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合：汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。
- ・ 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- ・ 飲み込んだ場合：無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、コップ2杯の水を飲ませる。気分が悪ければ医師の手当てを受ける。意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

保管

- ・ 直射日光、高温を避け、容器を密閉して20℃以下の冷暗所で保管すること。

廃棄

- ・ 内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

組成・成分

化学名	濃度又は濃度範囲(wt%)	CAS No.	官報公示整理番号
グリシジルエーテル型エポキシ樹脂	10～15	非開示	化審法-既存
グリシジリエステル型エポキシ樹脂	5～10	非開示	化審法-既存
ビスフェノールA 型エポキシ樹脂（液状）	1～3	非開示	化審法-既存
鉄粉	60～70	非開示	化審法-既存
粘土鉱物	10～15	非開示	化審法-既存
アルミニウム粉末	1～5	非開示	化審法-既存

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の手当てを受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹼で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。目の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、コップ2杯の水を飲ませる。気分が悪ければ医師の手当てを受ける。意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 消火に棒状水を用いてはならない。
- 特有の消火方法 : 先ず燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火活動は呼吸保護具を着用し、可能な限り風上から行う。周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業の際は、適切な自給式の呼吸保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。風上から作業をし、風下の人を退避させる。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となる物を速やかに除くとともに消火剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 技術的対策 : 取扱いは換気の良い場所で行う。  
目、皮膚および衣類に触れないよう適切な保護具を着用する。
- 安全取り扱い注意事項 : 保護眼鏡・保護面を着用すること。  
取り扱い後はよく手、顔を洗うこと。  
保護手袋を着用すること。  
ミスト・蒸気の吸入を避けること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
取り扱った後の手、顔などは十分に洗う。  
容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、または引きずるなどの粗暴な取扱いをしない。

## 保管

- 技術的対策 : 直射日光、高温を避け、容器を密閉して20℃以下の冷暗所で保管すること。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン

## 8. ばく露防止及び保護措置

化学名	管理濃度	許容濃度(衛生学会)	許容濃度(ACGIH)
粘度鉱物	設定されていない	吸入性粉じん 0.5mg/m <sup>2</sup> 総粉じん 2mg/m <sup>2</sup>	設定されていない
アルミニウム粉	設定されていない	吸入性粉じん 0.5mg/m <sup>2</sup> 総粉じん 2mg/m <sup>2</sup>	TLV-TWA 1mg/m <sup>3</sup> (R)

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
全体換気装置または局所排気装置を設ける。

## 保護具

- 呼吸器の保護具 : 防じんマスク（飛沫防止用）  
または、状況に応じて有機ガス用マスクを用いる。
- 手の保護具 : 溶剤用保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡またはゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具 : 化学用エプロンまたは保護前掛け  
安全靴または保護長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体／ペースト
- 色 : 灰色
- 臭い : 特異臭
- 融点 : 情報なし
- 沸点 : 情報なし
- 可燃性 : 可燃性
- 爆発下限界及び爆発上限界 : 情報なし  
／可燃限界
- 引火点 : 262℃（クリーブランド開放式）
- 自然発火点 : 情報なし
- 分解温度 : 情報なし
- pH : 情報なし
- 動粘度 : 情報なし
- 溶解度 : 水に不溶。
- n-オクタノール／水分係数 : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし
- 密度 : 2.89～2.91g/cm<sup>3</sup>（25℃）
- 相対ガス密度 : 該当しない
- 粒子特性 : 該当しない

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の取り扱いでは安定である。
化学的安定性	:	通常の取り扱いでは安定である。
危険有害反応可能性	:	通常の取り扱いでは安定である。
避けるべき条件	:	通常の取り扱いでは安定である。
混触危険物質	:	知見なし
危険有害分解生成物	:	知見なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	:	情報なし	(分類できない)
	経皮	:	情報なし	(分類できない)
	吸入(ガス)	:	GHS定義による液体である。	(分類できない)
	吸入(蒸気)	:	情報なし	(分類できない)
	吸入(ミスト)	:	情報なし	(分類できない)
皮膚腐食性/刺激性	:	製品の判定基準		(区分2)
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	:	製品の判定基準		(区分2A)
呼吸器感作性	:	情報なし		(分類できない)
皮膚感作性	:	ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状)		(区分1)
生殖細胞変異原性	:	情報なし		(分類できない)
発がん性	:	情報なし		(分類できない)
生殖毒性	:	情報なし		(分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	:	情報なし		(分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	情報なし		(分類できない)
誤えん有害性	:	情報なし		(分類できない)

## 12. 環境影響情報

生態毒性				
水生環境有害性	短期(急性)	:	情報なし	(分類できない)
水生環境有害性	長期(慢性)	:	情報なし	(分類できない)
残留性・分解性	:	情報なし		
生体蓄積性	:	情報なし		
土壤中の移動性	:	情報なし		
オゾン層への有害性	:	列記されていない		(分類できない)

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。
- 汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 : 内容物を完全に除去した後に処理を委託する。  
洗浄に用いた廃液は残余廃棄物と同様の処理を行う。

## 14. 輸送上の注意

- 国際規制
- 国連分類 : 該当しない
- 国連番号 : 該当しない
- 品名（国連輸送名） : 該当しない
- 容器等級 : 該当しない
- 国内規制 : 適用法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
直射日光、高温を避ける。火気注意。

## 15. 適用法令

- 化管法（PRTR法） : 該当しない
- 消防法 : 危険物第4類第3石油類水溶性液体(指定数量4,000L)
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 労働基準局長通達平成6年6月6日基発第341号  
変異原性が認められた既存化学物質
- 労働基準法 : 労働基準局長通達平成8年基発第182号の2 感作性を有するもの

## 16. その他の情報

- 引用文献
- (1) GHSに基づく化学品の分類方法-JIS Z 7252 : 2019
- (2) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS) 作業場内の表示及び安全データシート（SDS）-JIS Z 7253 : 2019
- (3) 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂6版 化学工業日報社
- (4) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
- (5) 安全衛生情報センター GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報

## 記載内容の取り扱い

本安全データシートは、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。

# 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	:	<b>OIL-BLOCKER（硬化剤）</b>
用途	:	金属補修剤
会社情報	:	
会社名	:	株式会社IHI回転機械エンジニアリング
担当部署	:	国内アフターサービス営業部
住所	:	神奈川県横浜市磯子区新中原町1番地
電話番号	:	045-522-5322
緊急連絡先	:	045-522-5322
FAX番号	:	045-522-5341
製造者	:	株式会社中央発明発明研究所
住所	:	東京都西多摩郡瑞穂町二本木字杉並539番地
作成日	:	2022年4月22日

## 2. 危険有害性の要約

### 化学品のGHS分類

#### 物理化学的危険性

爆発物	:	分類できない
可燃性ガス	:	分類できない
エアゾール	:	分類できない
酸化性ガス	:	分類できない
高压ガス	:	分類できない
引火性液体	:	区分に該当しない
可燃性固体	:	分類できない
自己反応性化学品	:	分類できない
自然発火性液体	:	分類できない
自然発火性固体	:	分類できない
自己発熱性化学品	:	分類できない
水反応可燃性化学品	:	分類できない
酸化性液体	:	分類できない
酸化性固体	:	分類できない
有機過酸化物	:	分類できない
金属腐食性物質	:	分類できない
鈍性化爆発物	:	分類できない

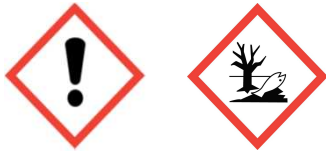
#### 健康に対する有害性

急性毒性（経口）	:	分類できない
急性毒性（経皮）	:	分類できない
急性毒性（吸入：ガス）	:	分類できない
急性毒性（吸入：蒸気）	:	分類できない
急性毒性（吸入：ミスト）	:	分類できない
皮膚腐食性／刺激性	:	分類できない
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	:	分類できない
呼吸器感作性	:	分類できない
皮膚感作性	:	区分1
生殖細胞変異原性	:	分類できない
発がん性	:	分類できない
生殖毒性	:	分類できない
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	:	分類できない
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	:	分類できない
誤えん有害性	:	分類できない

#### 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	:	区分1
水生環境有害性 長期（慢性）	:	分類できない
オゾン層への有害性	:	分類できない

GHSラベル要素  
絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

- ・ アレルギー皮膚反応を起こすおそれ
- ・ 水生生物に非常に強い毒性

注意書き

安全対策

- ・ ミスト・蒸気の吸入を避けること。
- ・ 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- ・ 不必要な環境への放出を避けること。
- ・ 取り扱い後はよく手、顔を洗うこと。

応急措置

- ・ 吸入した場合　： 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- ・ 皮膚（または髪）に付着した場合　： 汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。
- ・ 眼に入った場合　： 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。眼の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- ・ 飲み込んだ場合　： 無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、コップ2杯の水を飲ませる。気分が悪ければ医師の手当てを受ける。意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

保管

- ・ 直射日光、高温を避け、容器を密閉して20℃以下の冷暗所で保管すること。

廃棄

- ・ 内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。



## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

組成・成分

化学名	濃度又は濃度範囲(wt%)	CAS No.	官報公示整理番号
変性ポリチオール	30～40	非開示	化審法-既存
合成樹脂	5～10	非開示	化審法-既存
リン酸エステル	1～5	非開示	化審法-既存
炭酸カルシウム	50～60	非開示	化審法-既存

## 4. 応急措置

- 吸入した場合 : 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。気分が悪い時は、医師の手当を受ける。
- 皮膚に付着した場合 : 汚染された衣類を脱ぎ、多量の水と石鹸で洗う。皮膚刺激が生じた場合、医師の手当てを受ける。汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。
- 目に入った場合 : 水で数分間注意深く洗う。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外す。その後も洗浄を続ける。目の刺激が続く場合は、医師の手当てを受ける。
- 飲み込んだ場合 : 無理に吐き出させようとしない。水でよく口の中を洗浄し、コップ2杯の水を飲ませる。気分が悪ければ医師の手当てを受ける。意識がなければ口から何も与えず、直ちに医師の手当てを受ける。

## 5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、水溶性液体用泡消火薬剤、二酸化炭素、乾燥砂
- 使ってはならない消火剤 : 消火に棒状水を用いてはならない。
- 特有の消火方法 : 先ず燃焼源を断ち、消火剤を使用して消火する。消火活動は呼吸保護具を着用し、可能な限り風上から行う。周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、周囲に散水して冷却する。
- 消火を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 消火作業の際は、適切な自給式の呼吸保護具、眼や皮膚を保護する防護服（耐熱性）を着用する。

## 6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 作業の際には保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、吸入しないようにする。風上から作業をし、風下の人を退避させる。屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。
- 環境に対する注意事項 : 流出した製品が河川等に排出され、環境に影響を与えないように注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 少量の場合には、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
- 二次災害の防止策 : 付近の着火源となる物を速やかに除くとともに消火剤を準備する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

## 取扱い

- 技術的対策 : 取扱いは換気の良い場所で行う。  
目、皮膚および衣類に触れないよう適切な保護具を着用する。
- 安全取り扱い注意事項 : ミスト・蒸気の吸入を避けること。  
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。  
不必要な環境への放出を避けること。  
取り扱い後はよく手、顔を洗うこと。  
取り扱った後の手、顔などは十分に洗う。  
容器を転倒させたり、落下させたり、衝撃を加えたり、または引きずるなどの粗暴な取扱いをしない。

## 保管

- 技術的対策 : 直射日光、高温を避け、容器を密閉して20℃以下の冷暗所で保管すること。
- 安全な容器包装材料 : ポリエチレン

## 8. ばく露防止及び保護措置

化学名	管理濃度	許容濃度(衛生学会)	許容濃度(ACGIH)
炭酸カルシウム	設定されていない	吸入性粉じん 2mg/m <sup>2</sup> 総粉じん 8mg/m <sup>2</sup>	TLV-TWA 10mg/m <sup>3</sup>

- 設備対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。  
全体換気装置または局所排気装置を設ける。

## 保護具

- 呼吸器の保護具 : 防じんマスク（飛沫防止用）  
または、状況に応じて有機ガス用マスクを用いる。
- 手の保護具 : 溶剤用保護手袋
- 目の保護具 : 保護眼鏡またはゴーグル
- 皮膚及び身体の保護具 : 化学用エプロンまたは保護前掛け  
安全靴または保護長靴

## 9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体／ペースト
- 色 : 白色
- 臭い : メルカプタン臭
- 融点 : 情報なし
- 沸点 : 情報なし
- 可燃性 : 可燃性
- 爆発下限界及び爆発上限界 : 情報なし  
／可燃限界
- 引火点 : 282℃（クリーブランド開放式）
- 自然発火点 : 情報なし
- 分解温度 : 情報なし
- pH : 情報なし
- 動粘度 : 情報なし
- 溶解度 : 水に不溶。
- n-オクタノール／水分係数 : 情報なし
- 蒸気圧 : 情報なし
- 密度 : 1.0～1.1g/cm<sup>3</sup>（25℃）
- 相対ガス密度 : 該当しない
- 粒子特性 : 該当しない

## 10. 安定性及び反応性

反応性	:	通常の取り扱いでは安定である。
化学的安定性	:	通常の取り扱いでは安定である。
危険有害反応可能性	:	通常の取り扱いでは安定である。
避けるべき条件	:	通常の取り扱いでは安定である。
混触危険物質	:	知見なし
危険有害分解生成物	:	知見なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	経口	:	ラットLD <sub>50</sub> >5,000mg/kg	(分類できない)
	経皮	:	情報なし	(分類できない)
	吸入(ガス)	:	GHS定義による液体である。	(分類できない)
	吸入(蒸気)	:	情報なし	(分類できない)
	吸入(ミスト)	:	情報なし	(分類できない)
皮膚腐食性/刺激性	:	製品の判定基準		(分類できない)
眼に対する重篤な損傷性 /眼刺激性	:	製品の判定基準		(分類できない)
呼吸器感作性	:	情報なし		(分類できない)
皮膚感作性	:	変性ポリチオール		(区分1)
生殖細胞変異原性	:	情報なし		(分類できない)
発がん性	:	情報なし		(分類できない)
生殖毒性	:	情報なし		(分類できない)
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	:	情報なし		(分類できない)
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	:	情報なし		(分類できない)
誤えん有害性	:	情報なし		(分類できない)

## 12. 環境影響情報

生態毒性				
水生環境有害性	短期(急性)	:	製品の判定基準	(区分1)
水生環境有害性	長期(慢性)	:	情報なし	(分類できない)
残留性・分解性	:	情報なし		
生体蓄積性	:	情報なし		
土壤中の移動性	:	情報なし		
オゾン層への有害性	:	列記されていない		(分類できない)

## 13. 廃棄上の注意

- 残余廃棄物 : 内容物及び容器は管轄する都道府県知事の産業廃棄物収集運搬業・処分業の許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託すること。
- 汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報 : 内容物を完全に除去した後に処理を委託する。  
洗浄に用いた廃液は残余廃棄物と同様の処理を行う。

## 14. 輸送上の注意

- 国際規制
- 国連分類 : 該当しない
- 国連番号 : 該当しない
- 品名（国連輸送名） : 該当しない
- 容器等級 : 該当しない
- 国内規制 : 適用法令に従い、包装、表示、輸送を行う。
- 輸送の特定の安全対策及び条件 : 輸送前に容器の破損、腐食、漏れ等がないことを確認する。転倒、落下、破損がないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。  
直射日光、高温を避ける。火気注意。

## 15. 適用法令

- 化管法（PRTR法） : 該当しない
- 消防法 : 該当しない
- 毒物及び劇物取締法 : 該当しない
- 労働安全衛生法 : 該当しない

## 16. その他の情報

- 引用文献
- (1) GHSに基づく化学品の分類方法-JIS Z 7252 : 2019
  - (2) GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法－ラベル、作業場内の表示及び安全データシート（SDS）-JIS Z 7253 : 2019
  - (3) 化学品の分類および表示に関する世界調和システム（GHS）改訂6版 化学工業日報社
  - (4) 独立行政法人製品評価技術基盤機構 GHS分類結果データベース
  - (5) 安全衛生情報センター GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報

## 記載内容の取り扱い

本安全データシートは、現時点で入手できる最新の資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。また、安全データシート中の注意事項は通常の取扱いを対象としたものです。製品使用者が特殊な取扱いをされる場合は用途、使用方法に適した安全対策を実施の上、製品を使用してください。また、当社は記載内容について十分注意を払っていますが、その内容を保証するものではありません。